

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン 中国四川地震緊急支援募金による活動報告

World Vision

この子を救う。未来を救う。

- 募金総額： 502,000円 ■募金件数： 57件 ■募金期間： 2013年4月20日～9月1日
■支援事業期間： 2013年4月21日～8月27日
■支援事業地： 中華人民共和国四川(シセン)省雅安(ガアン)市廬山(ロザン)県および天全(ゼンテン)県

皆さまからの募金により、2013年4月20日に発生した大地震の被災者のための活動を行うことができました。
感謝とともに、ここに報告いたします。

※募金は、ワールド・ビジョン全体で行う支援活動の一部として役立たせていただきました。本紙は緊急支援全体の報告となります。

四川地震発生と、被災した人々の状況

2013年4月20日、四川省雅安市にてマグニチュード6.6の地震が発生、19地区115県が被災し、死者が196人、行方不明者20人、負傷者約1万3千人という被害をもたらしました。この地震により一時期、合計約23万人が避難生活を余儀なくされ、地方では約2万棟、都市部では約9,500棟の建物が倒壊しました。



地震で倒壊した、廬山県の建物

支援活動の内容

支援地域：四川省雅安市廬山県および天全県

◆生活物資の支援

地震により多くの人々が家を失い、政府は食糧支援や避難民用テントの設置を優先的に行いましたが、日常生活に必要な生活物資の不足が大きな課題でした。ワールド・ビジョン(以下、WV)はこれを受け、次のような支援を行いました。

- ・ 衛生キットを、1,020世帯に配布しました。衛生キットの内容は、石けん、歯ブラシ、歯磨き、シャンプー、タオルなどで、日々の衛生管理に用いられています。
- ・ ファミリーキットを、306世帯に配布しました。キットの内容は、鍋やフライパンなどの料理セット、食器、蚊帳、水を蓄えるバケツ、ランプなどです。

◆教育環境改善のための支援

雅安市では、357の学校施設が被害を受け、329校が一時期休校に追い込まれました。その後、政府などによって仮校舎、仮寮舎が建設され授業が再開されたものの、仮校舎は風通しが悪く空調が設置されていないため、室内が35度に至ることもあり、子どもたちが勉強に集中しにくい環境にありました。また、仮寮舎で暮らす生徒の多くは、家財道具を失い、生活必需品にこと欠く状態で寮生活を送っていました。WVは、子どもたちの教育環境改善のために次のような支援を行いました。



仮校舎に設置された扇風機を喜ぶ子どもたち

- ・ 小中学校35校の仮校舎や修復・新築された校舎に、扇風機を1,538台配布しました。この扇風機で約16,000人の生徒が勉強に集中できるようになりました。また、学校に46のエアコンを設置し、914人の子どもたちが支援を受けました。
- ・ 23校の寮舎に寝具セット(マットレス、シーツ、布団カバー、枕、枕カバー)を4,800セット配布しました。

支援を受けた学校の先生は、「生徒たちは地震後から厳しい環境に置かれており、学習環境が改善されたことで、新学期から子どもたちが集中して勉強できるようになり、また精神的にも支えになればと思っています」と話してくれました。



寝具セット受け取る、仮寮舎で暮らす子ども

◆子どもたちの安心のための支援

被災し、家族や友だち、知人などを失ったり、家や学校をなくしたりした子どもたちは、心に傷を負ったまま生活を続けることとなります。WVは、このような子どもたちの安心と、避難生活での安全のために、次のような支援を行いました。

・ チャイルド・フレンドリー・キット

被災した子どもたち600人に、チャイルド・フレンドリー・キットを配布しました。キットには、鉛筆やノートなどの文房具、タオルや歯ブラシなどの衛生用品に、おもちゃがセットされています。勉強道具だけでなく、遊び道具もなくなった子どもたちに希望と喜びを与えることができました。



「おもちゃで友だちと遊ぶことがとても楽しいです！」

ジンファンくん(7歳)は、地震が起こったとき、庭掃除をしていました。「地震だ！」と叫ぶと、ジンファンくんは丘に駆け上り、自分の家が完全につぶれるのを目撃しました。今でもその光景を良く思い出すと云います。ジンファンくんの家族は政府が建てたテントでの生活を余儀なくされ、両親は家の残骸の中からまだ使えるものを見つけるために忙しく、ジンファンくんの相手ができませんでした。

そんなジンファンくんにWVのスタッフは、おもちゃの入ったチャイルド・フレンドリー・キットを渡しました。ジンファンくんは、「お母さんやお父さんのいないときも、寂しくならないでみんなと遊べるのがうれしい！」と話してくれました。

・チャイルド・フレンドリー・スペース

2つのチャイルド・フレンドリー・スペース(以下、CFS)を避難民キャンプに設置しました。CFSは、被災によって心身ともに大きな傷を負った子どもたちが安心して遊び、被災の心理的ストレスを和らげるだけでなく、親や家族とはぐれてしまった子どもたちを保護するための場所です。とくに子どもたちの心のケアのために、社会心理学専門のカウンセリングも行われました。

チャイルド・フレンドリー・スペースで過ごす子どもたち



■お問い合わせ先 特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン
 〒164-0012 東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー3F
 電話 03-5334-5351 ※受付時間 9:30~19:00(平日、月~金) FAX03-5334-5359
 Email: dservice@worldvision.or.jp <http://www.worldvision.jp>